

ハイライト

1991年よりさまざまな環境負荷削減活動を推進

ブラザーグループでは、1991年に事業活動に関わるさまざまな環境負荷削減を推進する全社環境対策組織を立ち上げ、1996年にブラザーインダストリーズ(U.K.)でISO 14001 認証を取得した後、国内外の拠点でも順次取得を重ね、グループ全体で継続的な環境負荷削減を着実に進めています。

国や地域レベルで整備されるさまざまな法規制への迅速な対応にも努めてまいりました。

「お客様にモノ創りを通して、優れた価値を創造し、迅速に提供すること」を使命として、製品の製造工程においては、1992年にオゾン層保護対策プロジェクトを発足させ、翌年にブラザー工業株式会社および、100%出資子会社の製造工程からオゾン層を破壊する物質の全廃をはじめ、事業活動におけるすべての局面において、環境負荷削減の一つ一つの施策に真摯な取り組みを続けています。

また製品においては、1993年よりアメリカで開始された国際エネルギースタープログラムへの登録を皮切りに、積極的に各国環境ラベルの取得に努めています。

▶環境活動のあゆみ

<http://www.brother.co.jp/eco/management/history/index.htm>

▶ISO 14001 認証取得拠点一覧およびISO 14064検証受審履歴

http://www.brother.co.jp/eco/facility/iso_14001/index.htm

「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」(2011～2015)の主な実績

環境配慮製品の創出・事業所の環境負荷削減・法規制と社会動向への対応・環境コミュニケーションの各分野で2015年までに達成すべき重要課題を特定し、意欲的な環境目標を設定して活動を推進した結果、ブラザーグループの環境活動は着実に実績を上げています。なかでも省エネを中心とした環境配慮製品の創出においては、強力な取り組みを展開し、各国環境ラベルの積極的な取得と新基準への対応など、各製品分野においてトップレベルの環境配慮設計を推進しています。

環境性能を上げるための技術改善事例

【事例】待機電力、限りなくゼロを目指して。低待機電力技術「グリーンスタンバイ」



【事例】目指したのは、エココンパクトカーのような工作機械でした。「電源回生」



【事例】回転数を上げて消費電力を減らす。その鍵は"音"でした。「低ノイズベルト駆動」

